



# CIVIC

府中市政レポート  
2015/12/31 Vol.016

# NEWS

## 府中市議会議員 須山たかし

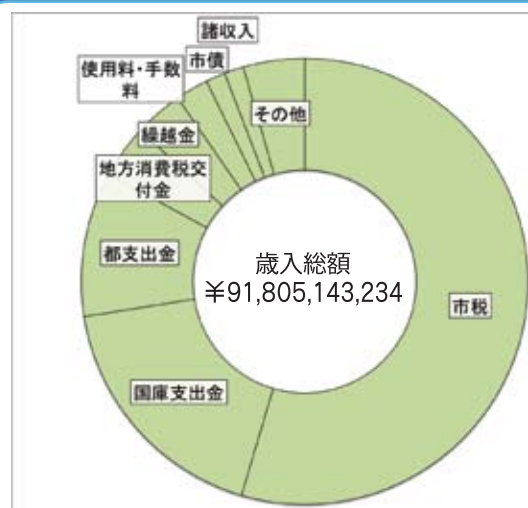
【発行】市民フォーラム  
〒183-8703 東京都府中市宮西町2-2-4

## 平成27年府中市議会全定例会終了。

2015年8月31日～9月29日に第3回定例会、11月27日～12月14日には第4回定例会が開催されました。今回は両定例会を併せてご報告いたします。

### 第3回定例会(8月31日～9月29日開催)

#### ● 平成26年一般会計決算



歳入総額	¥91,805,143,234
市税	¥50,090,686,990
国庫支出金	¥16,452,038,830
都支出金	¥9,646,327,268
地方消費税交付金	¥3,544,079,000
繰越金	¥3,230,690,332
使用料・手数料	¥2,184,823,608
市債	¥1,305,100,000
諸収入	¥1,286,649,365
その他	¥4,064,747,841

歳出総額	¥89,515,412,659
民生費	¥44,027,957,839
総務費	¥9,641,711,870
教育費	¥9,142,260,294
土木費	¥8,307,878,312
衛生費	¥6,651,755,865
公債費	¥4,821,948,621
消防費	¥2,908,404,818
議会費	¥515,458,776
その他	¥3,498,036,264



平成26年度は景気の動向により当初予算よりも市税収入が増となったものの、引き続き民生費等の歳出増傾向にあります。公共施設の老朽化対策や小中学校の耐震工事等も行われ、引き続き

健全財政に努める必要があります。また、市制施行60周年という年でもあり、様々な関連事業が行われ、市民協働を進める年にもなりました。市民フォーラムは平成26年度決算案に賛成を致しました。

#### ● 須山たかしの主な質疑

##### アレルギー対応に関して

- Q.児童が学校でアレルギー症状を起こした場合の対応は？  
A.東京都の「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」に基づき対応すると共に食物アレルギーを持つ児童の情報共有やアレルギー対応研修を行っている。  
Q.学校給食センター運営審議会での議論は？  
A.アレルギー専門医にも参加してもらい、府中市のアレルギー対応に関する基本姿勢や、新センターでのアレルギー対応、現場での対応手順、緊急時の対応、関係者の役割について議論している。

##### たかしの目

アレルギー症状を起こした際、その処置は一分一秒を争うため、スムーズな対応が求められる。日常から学校と医療機関とを結ぶ「**ホットライン**」をひいておき、いざという時の対応が必要。

##### 犬・猫に係る取り組みに関して

- Q.猫対策事業の実績と課題は？  
A.「ねこ去勢・不妊手術費補助金事業」として登録された市民団体に補助金を交付しており、平成26年度末までに計1,667頭の手術を行っている。  
Q.手術一匹あたりの補助と他市の状況は？  
A.手術費用の8割。去勢手術は13000円、不妊手術は22000円の上限。他市では調布市が去勢手術5000円、不妊手術が1万円。補助をしていない市も。

##### たかしの目

他市に比べて手厚い補助が出ている状況は理解したが、猫が増えている現状から市民団体の負担が増えているということを加味して補助をして頂きたい。また、「**入り口**」として、飼う側への責任もきちんと理解をしてもらうために**「生命を扱うこと**」の徹底した啓蒙を進めて頂きたい。

##### 府中市美術館に関して

- Q.府中市美術館で夏休み期間に開催された企画展の入場者数は？  
A.夏休み期間中に開催する企画展は親子で楽しめるものになっており、平成26年に開催した「ガリバーの大冒険」では11,108人が来館した。  
Q.子どもの成長の場として府中市美術館をどう捉えているか？  
A.市立小・中学校の美術館賞教室や0才児を対象とした「はじめてアート」といったワークショップを行うなど、幼い頃から美術に親しめる環境づくりに努めていきたい。

##### たかしの目

子どものころから「本物に触れること」はとても大切である。また、「子どもの居場所」としての美術館の活用も必要と考える。幼少期から親しめる場所となるように、お子さん連れの方も気兼ねなく来れる様に「**子ども優先日**」を設けるなどの対応も考えて頂きたい。

##### 子育て支援に関して

- Q.子育て支援サイトや府中市メール配信サービスの登録者数は？  
A.子育て支援サイト「ふわっと」のアクセス数は平成26年度は24,807アクセス。子育て関係のメール配信サービスの登録者数は5,169人。  
Q.市内助産師さんのネットワークや連携はどの様になっているか？  
A.市内には18人の助産師さんがおり、乳幼児健診や「子育てひろばのわ」などといったイベントで連携をして頂いている。

##### たかしの目

若い保護者の方はパソコンやスマホを情報源をすることがもはや常識である。「ふわっと」や「予防接種ナビっくん」など、とても使いやすい取組を行っていることを評価できる。ネットも活用しながら日常だけでなく災害時でも安心して子どもを産み、育てることの出来る環境を作るため、「**助産師さん**や**医療機関**」との連携を進めて頂きたい。



● 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて

Q.都がパラリンピックを開催する意義に関して、市の認識は？

A.大会を通じて障害者スポーツへの理解を深め、障害の有無にかかわらず、誰もが分け隔てなく、それぞれの個性、能力を尊重し、支え合う共生社会を実現していく契機になるものという認識。大会成功に向け、障害者スポーツの振興を初め、教育や文化のプログラム、ボランティア活動などのさまざまな分野でオリンピックと一体となった取り組みを市民の皆さんとともに進めていく必要があると考えている。

Q.市としてどのような準備を進めているか？

A.本年8月に、市長を本部長とする庁内組織である府中市東京オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業推進本部を設置し、オリンピックやパラリンピックを初め、2019年に開催されるラグビーワールドカップ日本大会といった国際大会に係る取り組みについて、本市が推進するに当たっての基本的な考え方や方針を取りまとめている。

Q.上から目線ではなく、相手の立場に立つ「心のバリアフリー」に関してはどのような施策があるか？

A.お互いに理解をし、助け合う福祉意識の醸成を図っていくため、さまざまな広報媒体や福祉まつりなどのイベントを通じ、ソーシャルインクルージョン及びノーマライゼーションの理念の普及に努めている。また、小・中学校での福祉教育やボランティア体験を通じ、障害のある人たちへの理解を深め、支え合う気持ちを育むなど、社会教育、啓発活動の推進、また福祉教育等の推進を図っている。

パラリンピック開催の意義をしっかりと認識した上で、府中のオリンピック・パラリンピックは「こうだ」と市内外に発信することが府中市の価値を高めていく。推進本部の今後に非常に期待する。

また、サントリーの佐藤真海選手をはじめ、府中市にゆかりのあるパラリンピアンも沢山いるので、そういった方々にもお手伝い頂き、オリンピック・パラリンピックの機運醸成につなげて頂きたい。



第4回定例会(11月27日～12月14日)

● 一般質問 市民協働都市に向けて

Q.市民協働の目的と市長の思いをお聞かせください。

A.地域社会を取り巻く環境の変化で、行政だけでは課題の解決や市民ニーズへの対応が困難になってきている中、市民と行政が対等の立場で協力する市民協働は、まちづくりを進めるためには欠くことのできない。一方で市民一人ひとりの意識の温度差も感じている。積極的、主体的に関わって頂けるような環境づくりを進めたい。

Q.財源不足を補うため都合よく市民を使うという恐れもあるが？

A.市民協働を推進する行政において、職員一人一人が目指す市民協働の考え方等についてしっかりと理解することが重要である。その上で、市民の皆様に対しましても、市民協働の考え方や本市の取り組みについて御理解いただけるよう、広報活動や、具体的な協働事業、啓発事業等を通じて、より一層分かりやすい説明を心がける必要があるものと考えている。

福岡県大刀洗町では町長の強いリーダーシップと職員の皆さん一人ひとりが「行政と市民」という垣根を取り払った強い意識を持った為、無作為に抽出した市民と高校生が参加する「住民協議会」を開催することが出来たと言う。

パブリックコメントや、いつも同じような顔ぶれの集まる〇〇審議会といったところとはまた違った声がかかる取り組みであり、その姿勢は大変参考になるのではないかと

市長のリーダーシップ、そして市職員の皆さんが垣根を取り払って、市民協働都市に向けて一丸となっていたいただくことを強く期待する。



● 陳情に関して

委員長を務めている文教委員会に出された陳情は「グリーンプラザの平成30年度、解体の取りやめを求める陳情」。陳情要旨としてはグリーンプラザの一部を無料で利用してきたフロアセブン登録団体の存続を求めるもの。

委員会の審議では、市民活動の拠点として、府中駅前にできて35年のグリーンプラザと、竣工当時からフロアセブン登録団体まとめてきたフロアセブン協議会の在り方などを改めて考える、濃密な議論がされました。

35年の時を経て、市民と行政の関わり方、市民協働という考え方も変化してきた状況の中での在り方も問われてきています。議論の結果、陳情に関しては不採択になりましたが、新しい「市民協働」に向けた濃密な議論がされたと思います。

その他、「安保関連法案の廃止を求める意見書」を関係機関に提出することを求める陳情、「伊方原発再稼働に反対する意見書」を関係機関に提出することを求める陳情のいずれも採択で臨みましたが、本会議で不採択となってしまいました。

平成28年第1回府中市議会定例会(3月議会)は

2月22日(月)開会予定です。

平成28年度一般会計予算の審議を行う予定です。我々の支払った税金がどのように使われるのかを審議しますので、是非傍聴にいらしてください!

また、府中市議会では本会議をインターネット配信しております。こちらにもアクセスしてください!

府中市議会HP <http://www.fuchu-city.stream.jfpt.co.jp/>

須山たかしプロフィール



1980(昭和55)年11月6日生まれ(35歳)。府中市晴見町育ち・在住。

明星幼稚園、桐朋小・中・高校、早稲田大学社会科学部卒業。早稲田大学大隈塾においてジャーナリスト・高野孟に師事(1期生)。大学卒業後、民間特許事務所に3年半勤める。その後、政党本部スタッフ、参議院議員公設秘書など国政に従事。蓮舫(れんほう)参議院議員の秘書を経て、2011年府中市議会議員に初当選。2015年2期目再選。

文教委員会委員長 再開策対策特別委員会委員 農業委員会委員 市民フォーラム所属

地域での主な活動

・公益社団法人むさし府中青年会議所会員・武蔵野府中ボーイズ名誉顧問

・けやき音楽祭2013JAZZinFUCHU実行委員長

TEL & FAX 042-307-8309 mail [suyama1980@gmail.com](mailto:suyama1980@gmail.com)

HP <http://suyamatakehi.jp/>

ご意見  
お待ちしております!



「府中市議会議員 須山たかし」で検索

